

第1ステーション部会(第2回) 結果報告

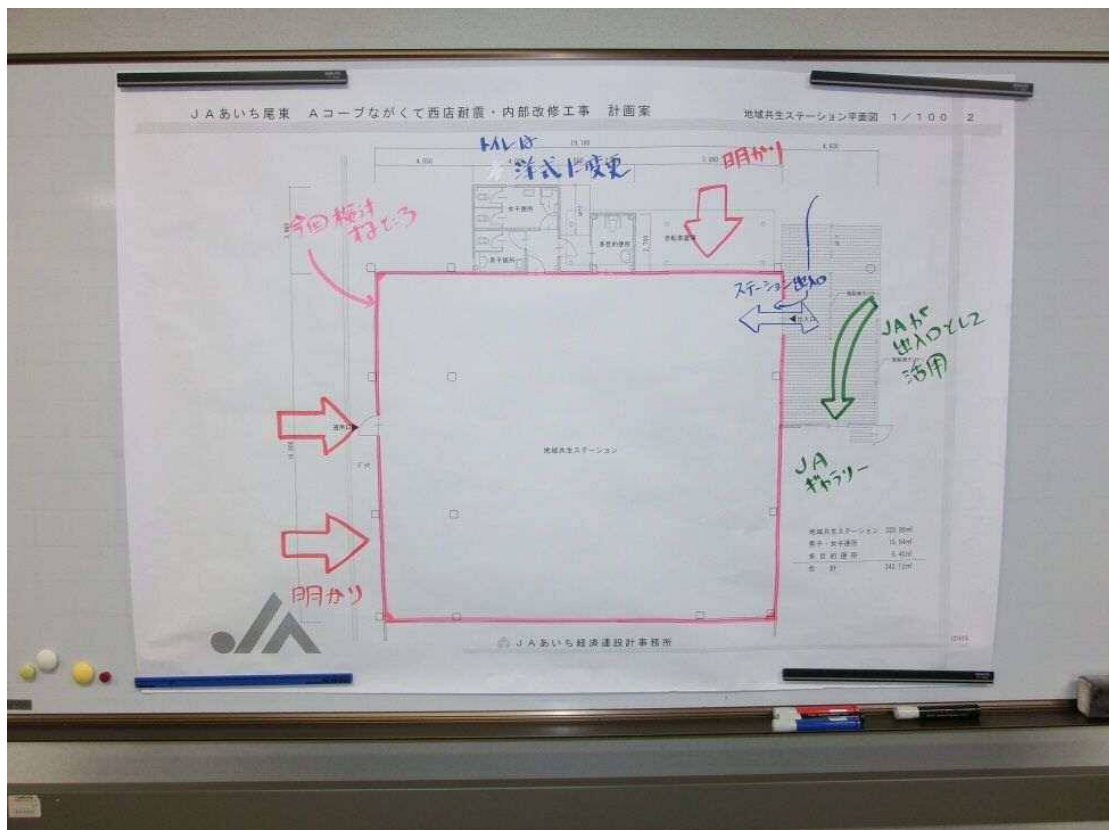
(1) 日時 平成25年1月12日(土) 午前10時から正午

(2) 場所 市役所西庁舎2階 第7・8会議室

(3) 参加者 17名
傍聴者 6名
事務局 2名

(4) 配布資料 第1ステーションのレイアウトを考えよう！

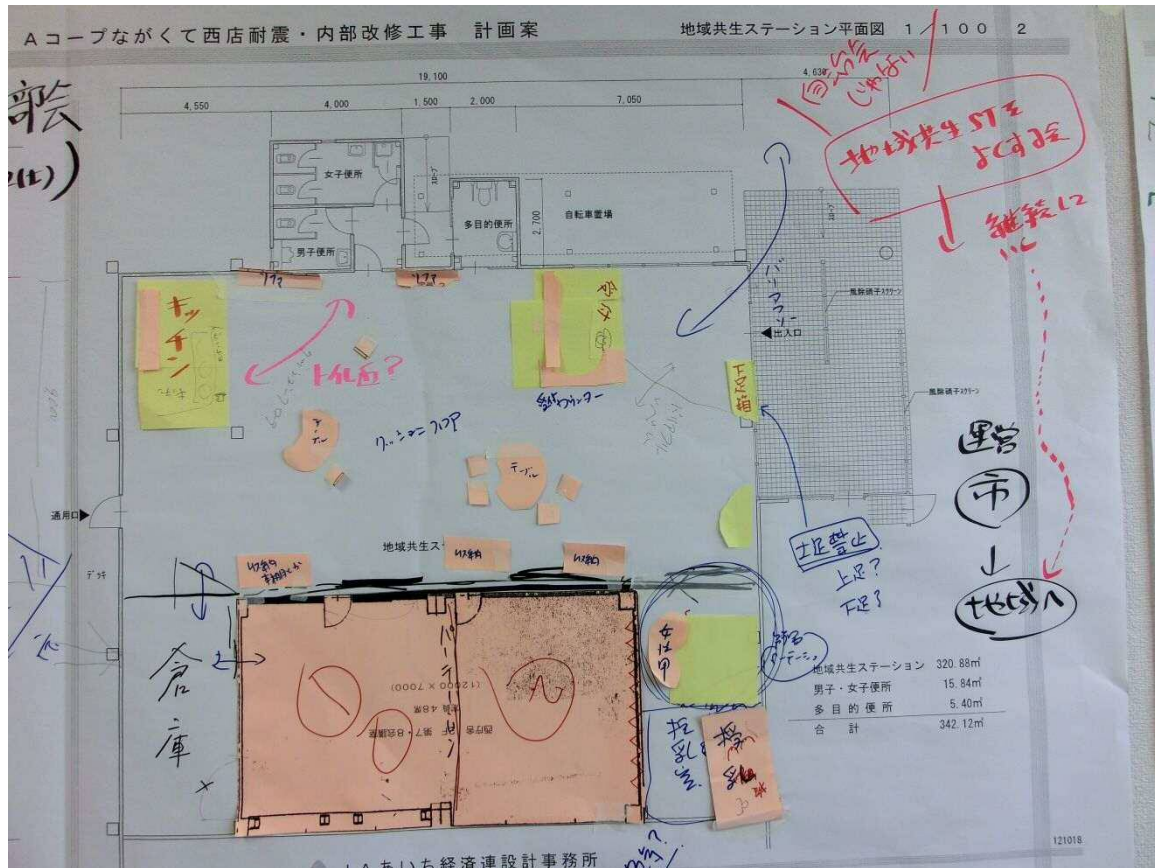
- ・明かりを確保するため、窓を数か所設ける。（開口部の大きさ、位置は設計に合わせて検討）
- ・トイレは現在の位置のまま、洋式に改修する。
- ・出入口は、西側に 1 か所、東側に 1 か所設ける。
- ・今回は、内部のレイアウトを中心に検討を行う。



【グループワーク】

第1ステーションのある西小校区の在住及び在勤のメンバーによるグループと西小校区以外の在住及び在勤のメンバーによるグループの2つに分かれてレイアウトの検討をそれぞれ行い、提案を行った。

【Aグループによる提案】



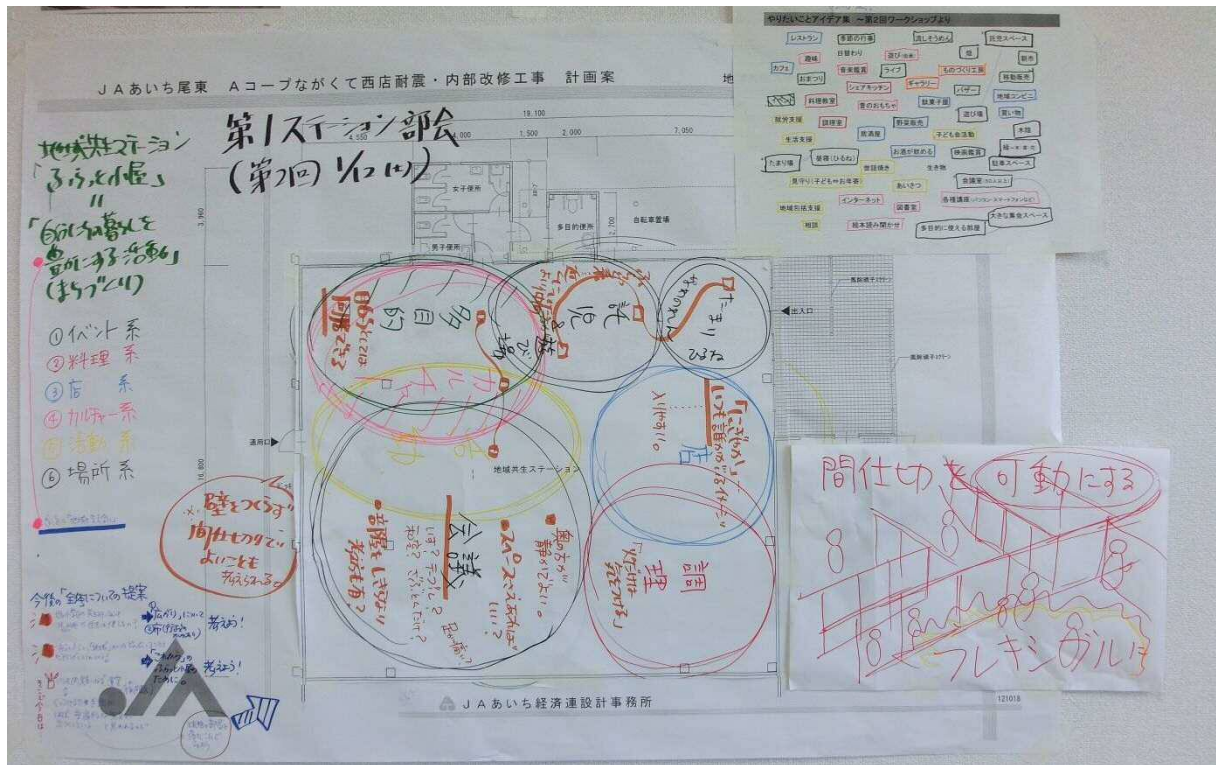
●利用者の中心を「子ども」（親子連れ）や「高齢者」と考えて提案

- ・会議（50人程度）や様々な地域活動で使えるスペースを設ける。
- ・会議用の机、イス等を収納する倉庫を設けたり、間仕切りをパーティションにして、利用状況に応じてスペースをフラットに広く使えるようにする。
- ・子どもたちが遊びやすいよう、フリースペースをクッションフロアにする。
- ・フリースペースには、キッチン設備やテーブル・イス・ソファ・収納家具（本棚など）を配置して、自由に使えるスペースとする。
- ・住民に対応する場所として受付カウンターを設ける。

活動場所はステーションのみでなく、校区各地域を活動の場とするため、この受付のスタッフの役割は、市民と市民、市民と市役所のつなぎ役（コーディネーター）となる。

- ・授乳室とともに、女性のためのスペースを設ける。
- ・土足禁止として、下足箱や靴脱ぎのための台などを設置する（要検討）

【Bグループによる提案】



●地域共生ステーション「ふらっと小屋」を「自分たちの暮らしを豊かにする活動（まちづくり）の場と考えて提案。

- ・ワークショップで出たアイデアを6つの要素に分けてレイアウトした。
 - ① イベント系 ② 料理系 ③ 店系 ④ カルチャー系 ⑤ 活動系 ⑥ 場所系
- ・出入り口付近には、「にぎやか」で「ふらっと」寄れる、寄りやすい「調理スペース」、「店」とし、いつも誰かがいる場所「たまり場」、「子どもの遊び場」をイメージした。
- ・「イベント」「カルチャー」など、地域の活動の場となる多目的スペースや会議室は奥に設けた。
- ・①から⑥まで、それぞれの用途を固定せず、重ね合わせて幅広く活用できるような空間づくりとする。
- ・壁を設けずに、可動間仕切りとすることで、様々な用途にフレキシブルに対応できるようにする。

【次の進め方】

今回の提案をもとに、市が委託している建築士による「レイアウト案」を作成します。次の部会においては、このレイアウト案をもとに、活用方法や運営方法も含めて、検討を行います。

【ワークショップの様様】



グループワーク



グループの提案説明



地域共生ステーションづくりワークショップ

第1ステーション部会(第2回)

次 第

日時：平成25年1月12日(土)

午前10時から正午まで

場所：市役所西庁舎2階 第7会議室

1 レイアウトを考えよう！

①ステーションでどんなことをしたいのか？ イメージをふくらませる

↓

②そのためには、何が必要なのか？

(スペース、設備、備品、管理運営、実施プログラムなど)

↓

③使い勝手のよいレイアウトを「具体化」していきましょう！

★アイデアを出し合い、描き込みましょう！(グループワーク)

↓

★ベストアイデアを選ぼう！(全体ワーク)

2 その他

■次回の第1ステーション部会(第3回)は

____月 ____日() : ____ から _____にて開催